

成果指標の達成度

第3次刈谷市地域福祉計画で掲げていた成果指標の達成度については、次のとおりです。

福祉の理解の促進

指標項目	参考値 (平成20年)	現状値 (平成25年)	調査結果 (平成30年)	目標値 (平成30年)	区分
福祉を学んだことがある人の割合	70.5%	72.0%	78.2%	77.0%	若年者
社会福祉協議会の認知度(名前も活動も知っている)	13.4%	12.6%	15.4%	18.0%	一般市民

○ 「福祉を学んだことがある人の割合」は目標値を達成しましたが、「社会福祉協議会の認知度」については、現状値より2.8ポイント上昇したものの、さらなる周知が必要です。

支え合いのしくみづくり

指標項目	参考値 (平成20年)	現状値 (平成25年)	調査結果 (平成30年)	目標値 (平成30年)	区分
ボランティア活動への参加割合 (活動中+参加経験あり)	34.8%	26.4%	39.3%	40.0%	一般市民
ボランティア活動への参加割合 (活動中+参加経験あり)	59.0%	61.0%	77.1%	66.0%	若年者

○ 「ボランティア活動への参加割合」は一般市民は目標値に近い数値、若年者は目標値を達成した結果となっています。引き続き、ボランティア活動を支援するとともに、気軽に参加できるボランティアの機会をつくるなど、地域福祉活動に関わる場づくりが必要です。

地域における福祉サービスの充実

指標項目	参考値 (平成20年)	現状値 (平成25年)	調査結果 (平成30年)	目標値 (平成30年)	区分
刈谷市の福祉水準が高いと感じる割合(非常に高い+やや高い)	15.1%	15.7%	20.9%	21.0%	一般市民
刈谷市の地域福祉が進んだと感じる割合(非常に進んだ+やや進んだ)	—	15.4%	16.9%	21.0%	一般市民

○ 「刈谷市の福祉水準が高いと感じる割合」は目標値に近い達成度となっています。「刈谷市の地域福祉が進んだと感じる割合」に関しては、引き続き、地域課題の把握と対策を行うことや、住民同士が交流できる場づくり、福祉教育の推進が必要です。

地域での見守りと権利擁護の推進

指標項目	参考値 (平成 20 年)	現状値 (平成 25 年)	調査結果 (平成 30 年)	目標値 (平成 30 年)	区分
地域包括支援センターの認知度 (名前も活動も知っている)	7.3%	9.2%	16.5%	15.0%	一般市民
民生委員・児童委員の認知度 (委員も活動内容も知っている)	8.1%	6.7%	10.2%	12.0%	一般市民
自主防災組織の認知度 (名前も内容も知っている)	13.7%	13.7%	27.1%	19.0%	一般市民

- 「地域包括支援センターの認知度」、「自主防災組織の認知度」は、目標値を達成した結果となっています。
- 「民生委員・児童委員の認知度」は現状値より 3.5 ポイント上昇しており、民生委員・児童委員は地域の身近な相談先であることから、今後も委員や活動内容について周知することが必要です。